

「車いす空の旅 北海道」にボランティアとして参加

神奈川県遊技場協同組合（理事長伊坂重憲）と神奈川福祉事業協会（関根貞雄会長）は、神奈川新聞厚生文化事業団などが主催する「車いす空の旅事業」に、今回も支援とともに県遊協職員がボランティアとして参加し、障害者、ご家族の方々にも楽しんでいただきました。

1. 実施日	平成 23 年 9 月 8 日（木）から 10 日（土）
2. 場所	北海道（洞爺湖、アイヌ民族博物館、登別温泉、昭和金山 など）
3. 主催	神奈川新聞厚生文化事業団 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催
4. 参加者	肢体障害者 14 名とその家族及び看護師・ボランティアなど総勢 55 名
5. 概要	<p>神奈川新聞厚生文化事業団では、車いす生活をおくる障害者とその家族を対象に、毎年 4 月は沖縄（平成 23 年は東日本大震災の影響で中止）、9 月には北海道と飛行機を利用して訪れています。</p> <p>この旅行では、障害者は方の背後、側面、前面と多くのボランティアに支えられながらお風呂に入りました。</p> <p>登別温泉の大浴場でおもいきり手足を伸ばし、ふかふかと足を浮かせながら気持ちよさそうにお風呂を満喫していました。</p> <p>なお、この「車いす空の旅」については、9 月 9 日付及び 9 月 11 日付神奈川新聞にそれぞれ掲載されています。</p>



アイヌ民族博物館の方にも温かく迎えられました 澄み切った青空の下、大自然を散策しました